

ギャグも飛び出す不思議と笑いのマジックショー開催

9月25日（木）の午後2時から3階・4階の食堂、そして緩和談話室で「レミー佐藤のテーブルマジックショー」が開催されました。今回で2回目となるレミーさんのマジックは、カードやコイン、ハンカチ、ロープ、リング、帽子と次々に繰り出されて、一瞬も目が離せない感じ。プロとして活躍していたレミーさんはセンターの患者さんでもあり、「こんなに元気になったことを、少しでも多くの患者さんにマジックを通じて知らせたい」との思いでボランティアを買って出てくださいました。



マジック好きの患者さんは多いようで、皆さんの目がレミーさんの手元にくぎ付け。金具しかないがま口からコインが次々と出てきたり、ビリビリに破いた新聞紙が元に戻ったり、「ふつうはハンカチから鳩を出しますが、私は鳩からハンカチを出します」（写真左下）と、ジョークで笑わせたり、30分のショータイムがあっという間に終わってしまいました。小中学生のときにマジックが大好きだったという男性患者さんは、カードマジックのお手伝いもしてレミーさんのマジックのすごさを実感。「びっくりしました。どうしたらこうなるのか、今夜は眠れないかも???」と

真剣に頭を悩ませている面持ち。食堂の仕切りのガラス窓の外から見ていたスタッフからも、「ホウ～」と声があがって拍手がわきました。レミーさんは去年のセンターでのボランティアをきっかけに、ディサービスや老人ホームでのボランティアを次々と行っていらっしゃるそう。「好きだからやれるんです。自分のペースで

トレスもなく元気にしてます」と意気軒高。1時間半立ちっぱなしでのショーでしたが、本当に疲れさまでした。これからもますますご健康でご活躍ください。

